

## インドネシアにおける人材育成支援事業（省エネルギー技術基礎講座）の 講師募集について

このたび、国際協力委員会の平成24年度事業であるインドネシアにおける人材育成支援事業「省エネルギー技術基礎講座」を、インドネシアエネルギー・鉱物資源省・省エネルギーセンター(EMER Energy Conservation Office)と連携して実施することになりました。

つきましては、下記条件にて本講座の講師を募集しますので、平成24年8月27日(月)15時までに、当協会 FAMD 推進室まで応募くださいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 実施予定日 平成24年9月26日(水)及び9月27日(木)

2. 講座名 省エネルギー技術基礎講座(別紙概要参照)

### 3. 講師要件

- ・募集講師 2名
- ・講座時間 1日目6時間、2日目4時間の計2日間で実施します。  
講師2名は現地の補助1～2名とともに協力して実施していただきます。
- ・言語 日本語→インドネシア語(通訳)
- ・教材 講師が作成する教材(英語(一部インドネシア語併記))

### 4. 講師費用

当協会より、下記の費用をお支払いします。

- ・講師渡航費 日本とインドネシア間の往復航空券(PEXクラス)を当協会の手配
- ・講師日当 @5,000円×4日(講義2日、往復2日)
- ・講師料 @15,000円/時間
- ・講師宿泊費 当協会の手配
- ・現地交通費 実費支給(会場往復交通費等)

## 5. 提出書類

講師略歴書（書式自由／和文と英文）と、別紙カリキュラム（案）に基づいた教材（案）概要（和文と英文）を作成のうえ、電子ファイルにて、下記8. の提出先にご送付ください。その際、送付者の連絡先のご記入もお願いします。

講師略歴書においては、海外研修生を対象とした英語での研修実績がありましたらそれもお記入ください。

なお、ご提出いただいた書類については、個人情報保護の観点から、本事業の実施のみに使用し、本人の許可無く他の目的で使用すること、及び第三者に開示することはいたしません。

6. 応募締切：平成24年8月27日（月）15時厳守

## 7. 審査方法：

当協会内で、講師の経験等に基づき審査を行い、8月31日（金）までに結果をお知らせいたします。

## 8. お問い合わせ・提出先：

〒100-0004 東京都千代田大手町1-1-3 大手センタービル5階

一般社団法人 電子情報技術産業協会

国際部 FAMD 推進室長 宮城

e-mail: s-miyagi@jeita.or.jp

Tel: 03-5218-1060 Fax: 03-5218-1079

以上

別 紙

省エネルギー技術基礎講座実施要領

**1. 事業名**

東南アジアにおける人材育成支援事業  
(インドネシアにおける省エネルギー技術基礎講座開設)

**2. 主催、共催**

主催： 一般社団法人 電子情報技術産業協会（J E I T A）  
共催： インドネシアエネルギー鉱物資源省・省エネルギーセンター  
EMER Energy Conservation Office

**3. 目的**

本支援事業の目的は、インドネシアの有能且つ意欲的な若手エレクトロニクス技術者を対象とした省エネ及び再生エネルギー活用に関する基礎教育を実施することにより、実践的な技術能力を習得させるとともに、最良且つ具体的な省エネ施策を見出し発見する能力を高め、将来の電気電子産業全体の技術レベルの底上げに必要な人材を育成することにある。

本事業は、インドネシアエネルギー鉱物資源省・省エネルギーセンターと連携して実施する。

**4. 実施内容**

- (1) 実施予定日 平成24年9月26日（水）及び27日（木）
- (2) 講座時間 1日目6時間、2日目4時間の計2日間で実施
- (3) 受講者数 約40名（20社）  
現地の日系企業も含む、インドネシアエネルギー鉱物資源省・省エネルギーセンター傘下の電気電子関係企業の実務経験5年程度の現地技術者
- (4) 現地連携機関 インドネシアエネルギー鉱物資源省・省エネルギーセンター

**5. 会場** インドネシア ジャカルタ市内（未定）

6. 使用言語 日本語→インドネシア語（通訳）  
（教材は英語（一部インドネシア語訳））

## 7. 講座内容

本講座では、講師 2 名を派遣し、省エネルギー技術の概要に加え基礎的な省エネルギー知識及び技術の習得に必要な下記の研修科目を学習させる。

（カリキュラム案）

### 1 日目

- 1) 省エネルギーの背景
  - ・ 世界のエネルギー消費と価格
  - ・ 国際基準の動向
- 2) 省エネルギーの考え方
  - ・ エネルギーの分類
  - ・ エネルギーの最適化の考え方
  - ・ 省エネルギーの進め方
- 3) 電気設備の省エネルギー手法
  - ・ エネルギー管理
    - 流量、温湿度、電力等をはかる電子デバイスを応用して工場の各種エネルギーを計測し、管理システム(通信ネットワークと情報処理機器)による省エネ活動の見える化を紹介
  - ・ モーター、ファンの省エネ
    - 産業用半導体を応用したインバータを使った省エネを説明
  - ・ コンプレッサーの省エネなど
    - 電子制御機器(PLC 等)とインバータを使った省エネを説明
- 4) 熱の省エネルギー手法
  - ・ ボイラー(蒸気)設備の省エネ
    - 熱の回収などによる燃料の省エネを説明
  - ・ ヒートポンプ(熱回収)による省エネなど
    - 熱交換器(熱材料)による燃料の省エネを説明
  - ・ 空調設備の省エネなど
    - 制御機器(温度センサーとコントローラ)を使った省エネを説明

### 2 日目

- 1) 省エネルギーの将来動向
  - ・ エネルギーマネジメントシステムの運用
  - ・ 再生可能エネルギーの活用
- 2) 再生エネルギーの活用

以上